

「生活意識に関するアンケート調査」(第13回)の結果

(はじめに)

日本銀行では、政策・業務運営の参考とするため、本店や支店を通じた広報活動のなかで、国民各層の意見や要望を幅広く聴取するよう努めていますが、その1つの手法として、平成5年以降、全国20歳以上の男女個人4,000人を対象に「生活意識に関するアンケート調査」を実施しています。この調査は、日本銀行が四半期ごとに行っている「企業短期経済観測調査(短観)」のような統計指標としての調査ではなく、生活者の意識や行動を大まかに伺う一種の世論調査です。

(調査概要)

- ・調査実施期間：平成13年9月21日～10月1日
- ・調査対象：全国の20歳以上の男女個人
- ・標本数：4,000人(有効回答者数3,272人<有効回答率81.8%>)
- ・抽出方法：層化2段無作為抽出法
- ・調査方法：設問票によるアンケート調査(訪問留置法)

1. 景況感等

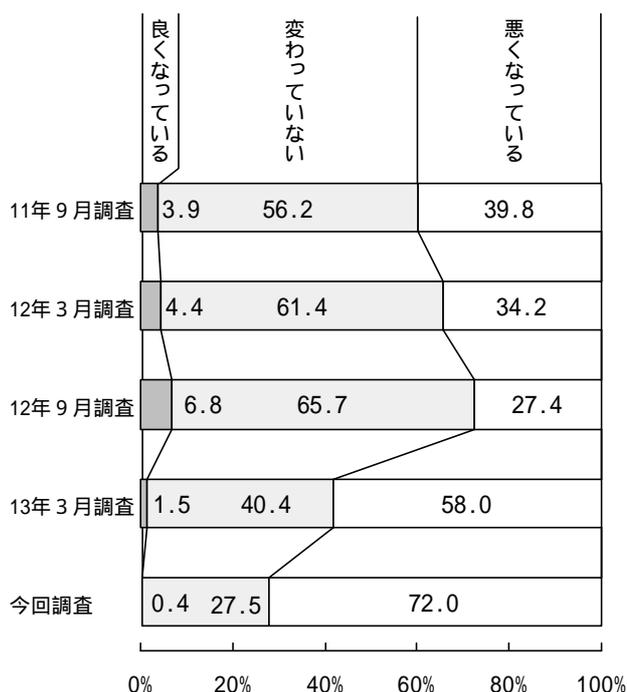
(1) 景況感

足許の景況感(1年前対比)については、「悪くなっている」が増加し、D.I. (「良くなっている」 - 「悪くなっている」)は、前回調査からさらに悪化(前回比 15.1%ポイント)。

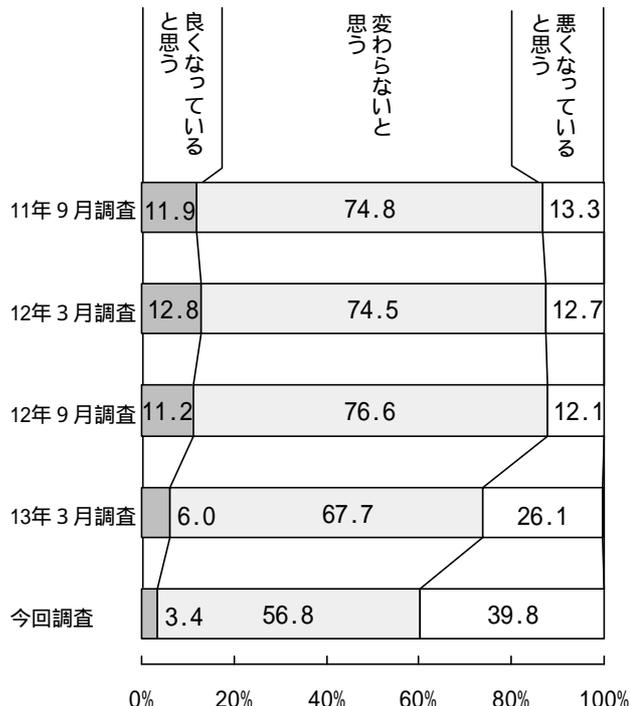
また、1年後までの先行きに関するD.I. (「良くなっていると思う」 - 「悪くなっていると思う」)も悪化(前回比 16.3%ポイント)し、平成8年3月の調査開始以降、「悪くなっていると思う」超幅が最大となった。

(図表1) 景況感(%) [問2、5]

< 現在を1年前と比べると >



< 1年後を現在と比べると >



< D.I.の推移 >

	8年3月調査	9年3月調査	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	12年3月調査	12年9月調査	13年3月調査	今回調査
現在 (前回比)	-23.0	-30.2 (-7.2)	-70.5 (-40.3)	-77.8 (-7.3)	-51.5 (+26.3)	-35.9 (+15.6)	-29.8 (+6.1)	-20.6 (+9.2)	-56.5 (-35.9)	-71.6 (-15.1)
1年後の予想 (前回比)	-2.2	-24.8 (-22.6)	-21.6 (+3.2)	-20.1 (+1.5)	-1.3 (+18.8)	-1.4 (-0.1)	0.2 (+1.6)	-0.9 (-1.1)	-20.1 (-19.2)	-36.4 (-16.3)

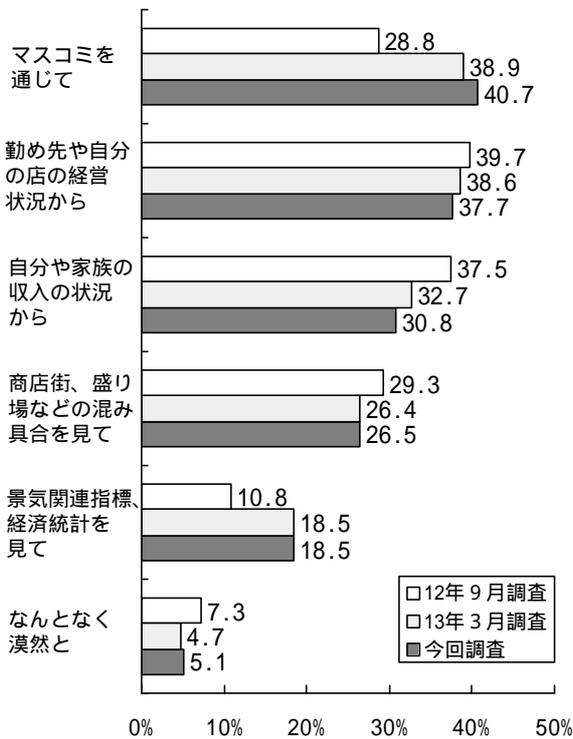
(2) 景気判断の方法と景気の受け止め方

景気判断の方法についてみると、「マスコミを通じて」との回答がもっとも多く、「勤め先や自分の店の経営状況から」、「自分や家族の収入の状況から」等の回答を上回っている。

景気の受け止め方についてみると、「これまで経験したことがないくらい深刻であり、企業の自助努力などでは対応に限界があると思う」との回答が引続き約半数を占めているが、「不景気になっても、経済や社会の構造を改革するためならやむを得ないと思う」との回答が大幅に増加（前回比+8.4%ポイント）。

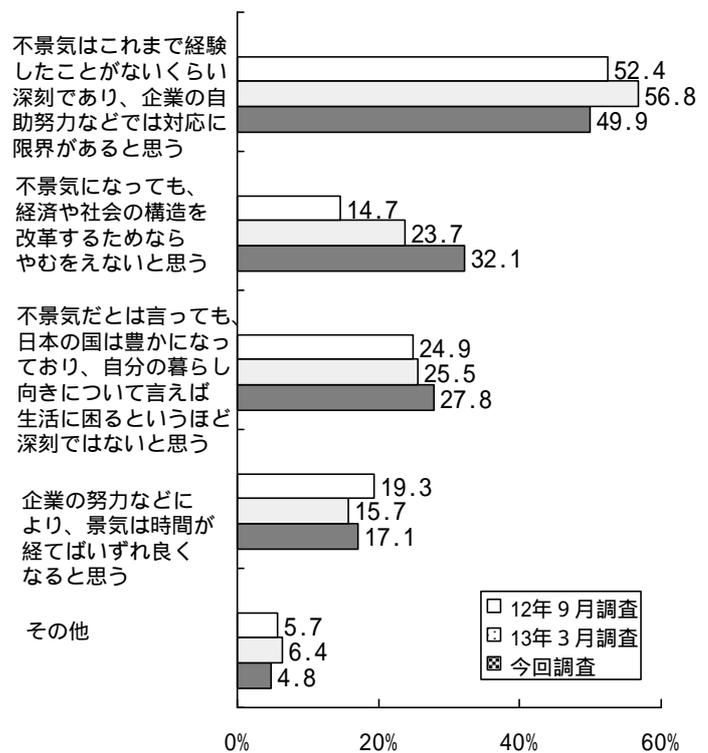
(図表 2) 景気判断の方法

(%、2 つまでの複数回答) [問 3]



(図表 3) 景気の受け止め方

(%、複数回答) [問 4]

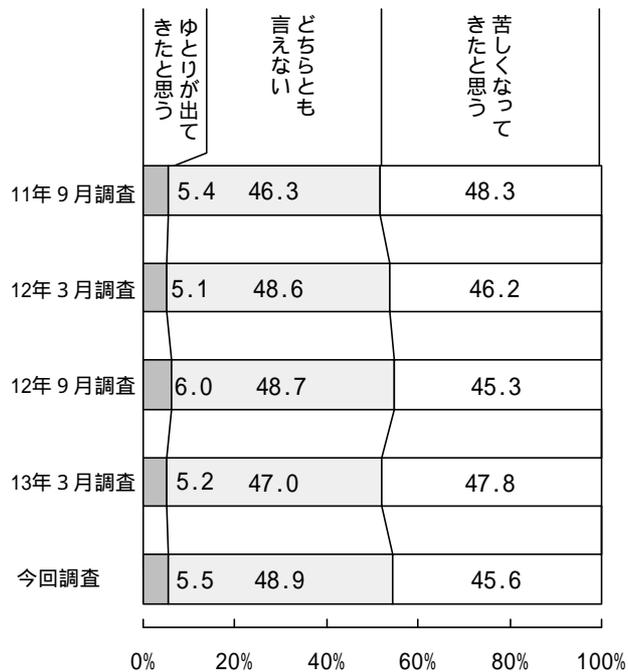


2.暮らし向き、消費意識

(1)現在の暮らし向き

暮らし向き（1年前対比）については、「苦しくなってきた」が引続き全体の5割近くを占めている。暮らし向きD.I.（「ゆとりが出てきた」 - 「苦しくなってきた」）はほぼ前回並み。

(図表4)現在の暮らし向き(%)〔問18〕

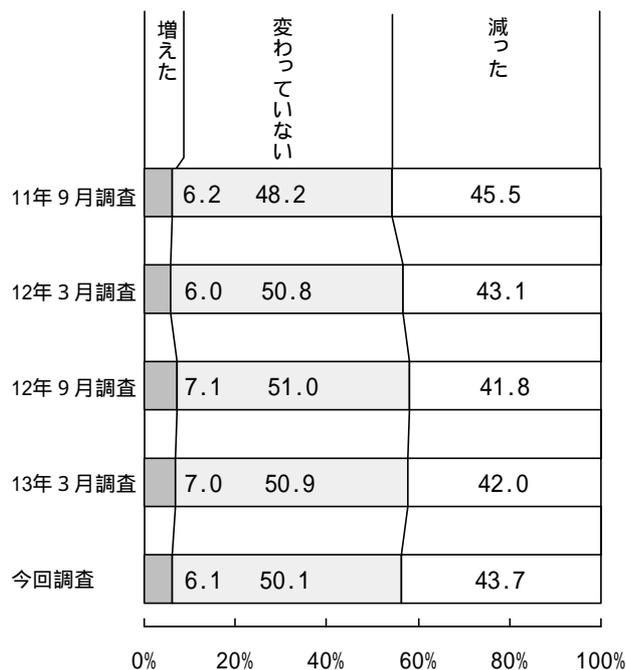


(2)収入

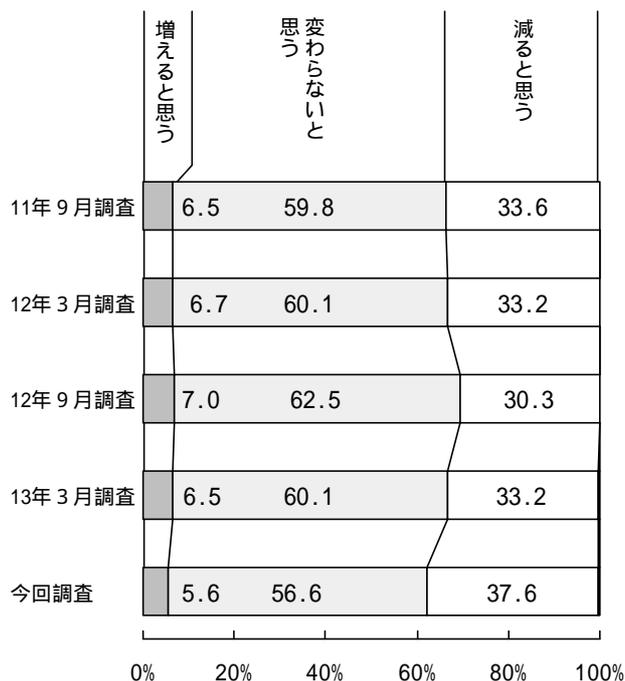
収入D.I.（1年前対比、「増えた」 - 「減った」）は、やや悪化（前回比 2.6%ポイント）、また、1年後までの先行きに関するD.I.（「増えると思う」 - 「減ると思う」）も悪化（前回比 5.3%ポイント）。

(図表5)収入(%)〔問7、8〕

< 現在を1年前と比べると >



< 1年後を現在と比べると >



<暮らし向きD.I.の推移>

	10年3月 調査	10年11月 調査	11年3月 調査	11年9月 調査	12年3月 調査	12年9月 調査	13年3月 調査	今回調査
暮らし向きD.I. (前回比)	-42.5	-49.4 (-6.9)	-42.2 (+7.2)	-42.9 (-0.7)	-41.1 (+1.8)	-39.4 (+1.7)	-42.6 (-3.2)	-40.1 (+2.5)
景況感D.I. (前回比)	-70.5	-77.8 (-7.3)	-51.5 (+26.3)	-35.9 (+15.6)	-29.8 (+6.1)	-20.6 (+9.2)	-56.5 (-35.9)	-71.6 (-15.1)

<収入D.I.の推移>

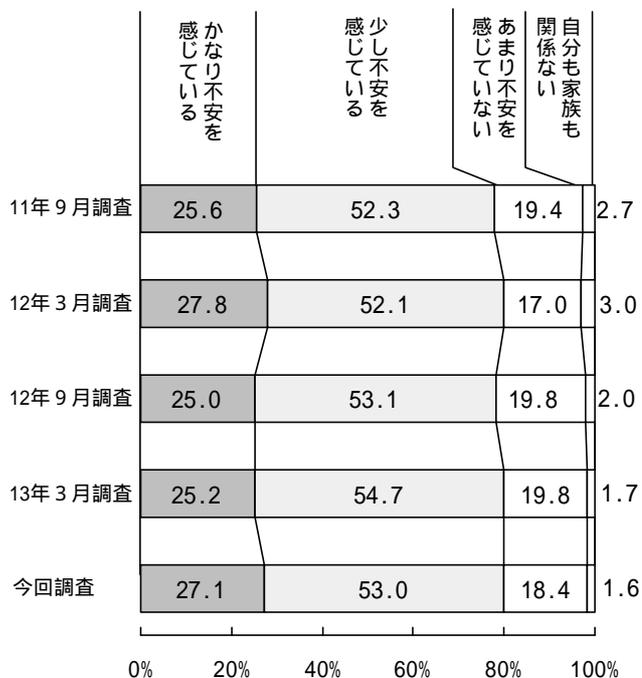
	8年3月 調査	9年3月 調査	10年3月 調査	10年11月 調査	11年3月 調査	11年9月 調査	12年3月 調査	12年9月 調査	13年3月 調査	今回調査
現在 (前回比)	-11.9	-10.0 (+1.9)	-22.8 (-12.8)	-37.0 (-14.2)	-34.2 (+2.8)	-39.3 (-5.1)	-37.1 (+2.2)	-34.7 (+2.4)	-35.0 (-0.3)	-37.6 (-2.6)
1年後の予想 (前回比)		-7.6	-21.0 (-13.4)	-29.8 (-8.8)	-23.1 (+6.7)	-27.1 (-4.0)	-26.5 (+0.6)	-23.3 (+3.2)	-26.7 (-3.4)	-32.0 (-5.3)

(3) 雇用環境

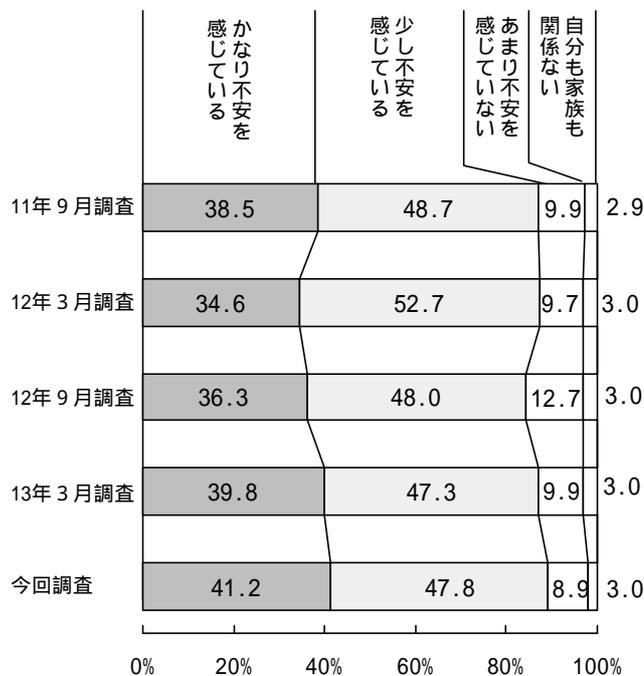
勤め先の雇用・処遇について「不安を感じている」^(注)との回答は全体の8割に達したほか、自営業者で自分の事業について不安を感じている人は9割弱といずれも引続き高水準にあり、前回調査比でも若干増加。

(注)『不安を感じている』は、「かなり不安を感じている」と「少し不安を感じている」の合計。

(図表6) 勤め先での雇用・処遇についての不安(%、勤労者)[問21]



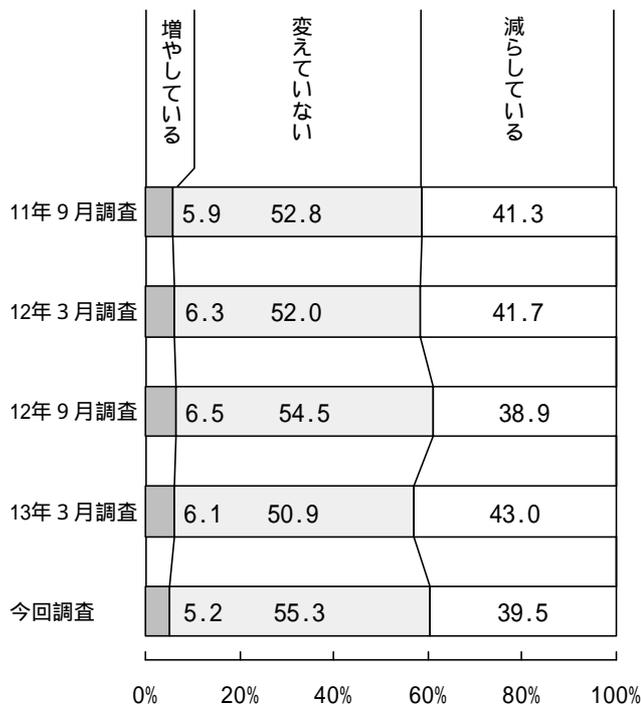
(図表7) 自分の事業についての不安(%、自営業者)[問19]



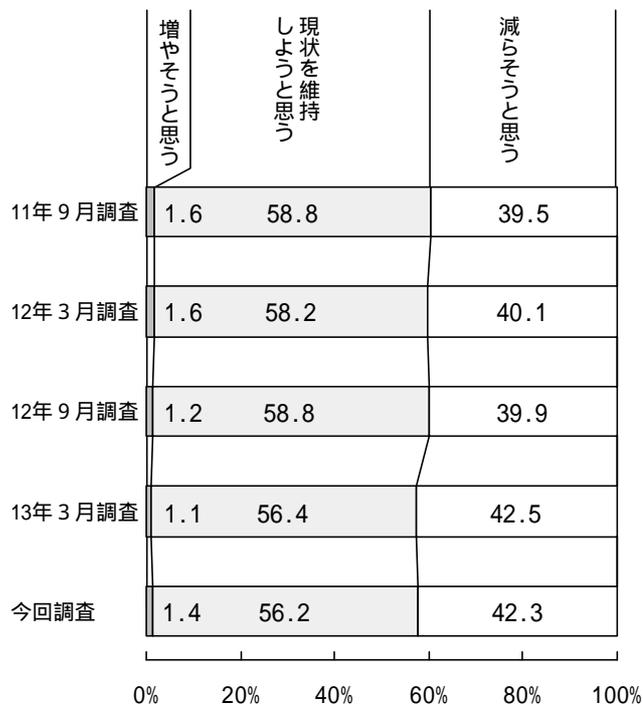
(4) 支出

支出(1年前対比)については、4割近くが「減らしている」と回答。
 先行きについても4割強が「減らそうと思う」と回答。

(図表8) 支出(%) [問9、11]
 < 現在を1年前と比べると >



< 1年後を現在と比べると >



< D.I.の推移 >

	8年3月調査	9年3月調査	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	12年3月調査	12年9月調査	13年3月調査	今回調査
現在 (前回比)	-38.4	-16.7	-34.7	-36.0	-35.8	-35.4	-35.4	-32.4	-36.9	-34.3
		(+21.7)	(-18.0)	(-1.3)	(+0.2)	(+0.4)	(±0.0)	(+3.0)	(-4.5)	(+2.6)
1年後の予想 (前回比)	-49.7	-38.6	-40.9	-43.6	-41.3	-37.8	-38.5	-38.6	-41.4	-41.0
		(+11.1)	(-2.3)	(-2.7)	(+2.3)	(+3.5)	(-0.7)	(-0.1)	(-2.8)	(+0.4)
景況感D.I. (前回比)	-23.0	-30.2	-70.5	-77.8	-51.5	-35.9	-29.8	-20.6	-56.5	-71.6
		(-7.2)	(-40.3)	(-7.3)	(+26.3)	(+15.6)	(+6.1)	(+9.2)	(-35.9)	(-15.1)

3. 物価騰落に対する実感

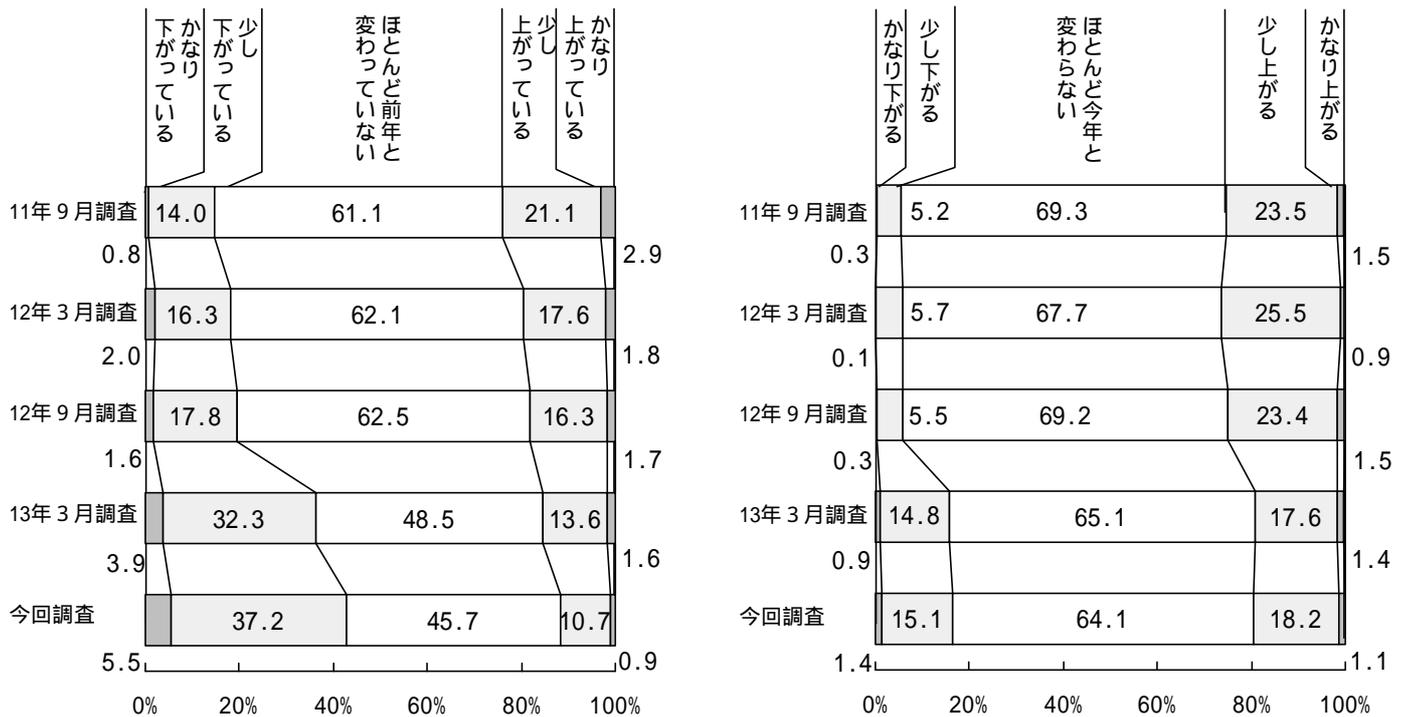
足許の物価の騰落に対する実感(1年前対比)は、「かなり下がっている」(+1.6%ポイント)、「少し下がっている」(+5.2%ポイント)が増加。1年後までの変化については、「かなり下がる」(+0.5%ポイント)、「少し下がる」(+0.3%ポイント)がともにほぼ横這いの動き。

物価が下がっていることについては、「どちらかといえば好ましいことだと思う」との回答が4割強となった一方、「どちらかといえば困ったことだと思う」との回答は2割弱となった。

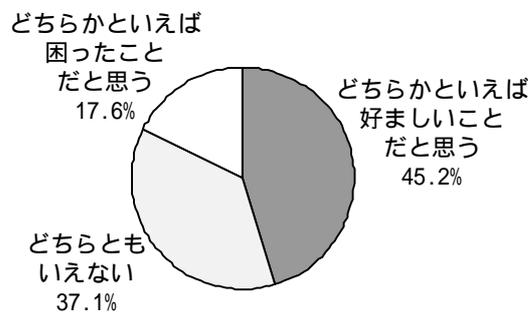
(図表9) 物価騰落に対する実感(%)〔問14、16〕

< 現在を1年前と比べると >

< 1年後を現在と比べると >



(図表10) 物価下落についての感想(%)〔問14-1〕



(調査結果)

生活意識に関するアンケート調査 (第13回)

N (Number of cases) は、当該質問における回答対象者数。
選択肢ごとに付記した太文字の数値は、当該質問における回答対象者数を
100 としたときの各選択肢の回答比率 (単位%、小数第2位四捨五入^(注))。
NA (Not Available) は、当該質問における無回答者の比率。

(注) 四捨五入の関係から、単数回答項目についても、その回答比率の合計は必ずしも 100 にはならない。

問1. 現在、関心を持っている経済問題は何ですか。(は3つまで)

< N = 3,272 >

1 景気	73.4	7 金融システム問題	5.7
2 雇用、収入	39.4	8 財政、税金	23.6
3 物価	26.4	9 高齢化、少子化	35.6
4 地価	4.1	10 構造改革、規制緩和	16.2
5 株価	12.4	11 産業空洞化、国際競争力	6.1
6 金利	17.8	12 その他(具体的に)	1.4

(NA 0.5)

問2. 1年前と比べて、最近の景気はどう変わったと思いますか。(は1つ)

< N = 3,272 >

1	2	3
良くなっていると思う	変わらないと思う	悪くなっていると思う
0.4	27.5	72.0

(NA 0.0)

問3. そうお考えになるのは、主にどのようなことからですか。(は2つまで)

< N = 3,272 >

1 マスコミを通じて	40.7	5 商店街、盛り場などの混み具合	26.5
2 景気関連指標、経済統計を見て	18.5	を見て	
3 勤め先や自分の店の経営状況	37.7	6 なんとなく漠然と	5.1
から		7 その他(具体的に)	2.2
4 自分や家族の収入の状況から	30.8		

(NA 0.1)

(問2で「3 悪くなっていると思う」と答えた方にお聞きします)

問4. 景気に関して、次にあげる中であなたの実感に近いのはどれですか。(はいくつでも)

< N = 2,357 >

1 企業の努力などにより、景気は時間が経てばいずれ良くなると思う	17.1
2 不景気になっても、経済や社会の構造を改革するためならやむをえないと思う	32.1
3 不景気だとは言っても、日本の国は豊かになっており、自分の暮らし向きについて言えば生活に困るといほど深刻ではないと思う	27.8
4 不景気はこれまで経験したことがないくらい深刻であり、企業の自助努力などでは対応に限界があると思う	49.9
5 その他(具体的に)	4.8

(NA 1.0)

(全員にお聞きします)

問5 . 1年後の景気は、現在と比べてどうなると思いますか。(は1つ)

< N = 3,272 >

1	2	3	
良くなっていると思う	変わらないと思う	悪くなっていると思う	
3.4	56.8	39.8	(NA 0.1)

問6 . 現在の金利水準に関して、どのようにお考えになりますか。(は2つまで)

< N = 3,272 >

1	企業の活動が活発になり、景気が良くなることを期待している	40.6
2	現在の金利水準でも、景気が良くなることは期待できない	49.0
3	預金などから受け取る利子が少ないのがつらい	43.2
4	受け取る利子は少ないが、物価が安定しており、元本が目減りしないので大きな不満はない	8.1
5	住宅ローンなどの借入れをしようと考えている(あるいは、既にしている)ので金利負担が小さいのは、助かる	9.4
6	その他(具体的に)	1.9

(NA 0.6)

問7 . 1年前と比べて、あなた(またはご家族)の収入はどうなりましたか。(は1つ)

< N = 3,272 >

1	2	3	
増えた	変わらない	減った	
6.1	50.1	43.7	(NA 0.0)

問8 . 1年後のあなた(またはご家族)の収入は、現在と比べてどうなると思いますか。(は1つ)

< N = 3,272 >

1	2	3	
増えると思う	変わらないと思う	減ると思う	
5.6	56.6	37.6	(NA 0.2)

問9 . 1年前と比べて、あなた（またはご家族）の支出をどのようにしていますか。（ は1つ）

< N = 3,272 >

1
減らしている
39.5

2
変わらない
55.3

3
増やしている
5.2

(NA 0.1)

(問10へ)

(問9で 1 と答えた方にお聞きします)

問9-1a . 支出を減らしているのはなぜですか。	
< N = 1,291 > (はいくつでも)	
1 不景気やリストラなどのために収入が頭打ちになったり減ったりしているから	41.1
2 将来の仕事や収入に不安があるから	59.1
3 今後は年金や社会保険の給付が少なくなるのではないかと不安から	52.2
4 将来、増税や社会保障負担の引き上げが行われるのではないかと不安から	35.5
5 住宅ローンを抱える一方で、購入した家などの不動産が値下がりしたから	7.4
6 購入した株式や債券などの金融資産が値下がりしたから	7.5
7 低金利で金利収入が少ないから	19.6
8 欲しい商品やサービスがあまりないから	8.1
9 たまたま大きな支出項目がなかったから	6.0
10 なんとなく	1.9

(NA 0.1)

(問9で 3 と答えた方にお聞きします)

問9-1b . 支出を増やしているのはなぜですか。	
< N = 169 > (はいくつでも)	
1 収入が増えているから	17.2
2 将来、収入が増えると見込まれるから	1.8
3 減税等に伴い、家計の負担が減少したから	2.4
4 今後、年金や社会保険の改善・充実等が見込まれるから	5.9
5 購入した家などの不動産が値上がりしたから	1.2
6 購入した株式や債券などの金融資産が値上がりしたから	0.6
7 低金利で住宅ローン等の返済額が減少したから	1.8
8 欲しい商品やサービスがあるから	20.1
9 たまたま大きな支出項目があったから	60.9
10 なんとなく	10.1

(NA 0.6)

(全員にお聞きします)

問10 . 問9の支出を、(1)生活費や教育費など日常的な支出（生活していくためのお金）と、(2)趣味やレジャーなど選択的な支出（(1)以外のお金）の2つに分けてみると、どうですか。(1)と(2)それぞれについてお答えください。（ はそれぞれ1つ）

< N = 3,272 >

		{ 1 }	{ 2 }	{ 3 }	{ 4 }	{ 5 }
		切り詰めている	なんとなく減らしている	変えていない	やむなく増えている	増やしている
(1)	生活費や教育費など日常的な支出（生活していくためのお金）	23.8	26.9	37.1	11.4	0.7
(2)	趣味やレジャーなど選択的な支出（(1)以外のお金）	32.7	32.5	28.9	4.0	1.7

(1) … (NA 0.1)

(2) … (NA 0.2)

問11. 今後1年間の支出をどのようにしようと考えていますか。(は1つ)

< N = 3,272 >

1	2	3	
減らそうと思う	現状を維持しようと思う	増やそうと思う	
42.3	56.2	1.4	(NA 0.1)

問12. あなたは、以下のどの項目が実現すれば支出を増やすと思いますか。(はいくつでも)

< N = 3,272 >

1	所得税減税	35.6
2	消費税率の引き下げ	36.1
3	住宅ローン、教育ローンなどがある人を対象とした政策減税	13.1
4	雇用や収入の不安の解消	44.5
5	金融システム不安の解消	19.0
6	年金改革や財政赤字などに対する指針を示し、国民負担の将来像を明確化する	33.9
7	その他(具体的に)	2.4
8	支出を増やすつもりはない	15.9
		(NA 0.2)

問13. 支出について今のあなたの考え方に特にあてはまるものはどれですか。(は2つまで)

< N = 3,272 >

1	基本的には、収入が増えれば支出も増えると思う	62.3
2	現在の収入よりも将来の不安があるかないかによって、支出は変わると思う	48.2
3	住宅などの不動産を持っているので、こうした資産の値上がりや値下がりによって、支出は変わると思う	4.2
4	株式や投資信託などを持っているので、株価の値上がりや値下がりによって、支出は変わると思う	4.5
5	税金や社会保険料によっても手取り収入は変わるので、支出はこれらの影響も受けると思う	30.3
6	買いたいと思わせるような魅力的な商品やサービスがあるかどうかで支出は変わると思う	13.1
7	似たような新商品が次々に登場したり、短期間で価格が大きく変わったりすると、買い時の判断が影響を受けるから、支出は変わると思う	4.9
		(NA 0.6)

問14. 物価についてお聞きします。

1年前と比べて、現在の物価をどのように感じていますか。(は1つ)

< N = 3,272 >

1	2	3	4	5	
かなり下がっている	少し下がっている	ほとんど前年と変わっていない	少し上がっている	かなり上がっている	
5.5	37.2	45.7	10.7	0.9	(NA 0.1)
↓			↓		
			(問15へ)		

(問14で 1 または 2 と答えた方にお聞きします)

問 14-1. 価が下がっていることについて、あなたはどのように思いますか。(は1つ)

< N = 1,397 >

1	2	3	
どちらかと言えば 好ましいことだと思う	どちらかと言えば 困ったことだと思う	どちらとも言えない	
45.2	17.6	37.1	(NA 0.1)

問15 . あなたは、問14で物価を考えた際に、主にどのようなものの値段をイメージしましたか。

< N = 3,272 >

(は3つまで)

1 食料品の値段	76.4	6 住宅の建設・修繕費や家賃	10.8
2 日用品の値段	59.5	7 旅行やレジャーの値段	10.9
3 電気製品、自動車などの耐久消費財の値段	25.1	8 病院の診察費や薬の値段	19.5
4 交通機関の運賃	9.9	9 学校や教育サービスの値段	3.7
5 電気、ガス、水道料金等の公共料金	26.9	10 その他(具体的に)	1.2

(NA 0.2)

問16 . 1年後の物価は、現在と比べるとどうなると思いますか。(は1つ)

< N = 3,272 >

1 かなり下がる	2 少し下がる	3 ほとんど今年と 変わらない	4 少し上がる	5 かなり上がる
1.4	15.1	64.1	18.2	1.1

(NA 0.1)

問17 . 今後の地価について、どのようなイメージを持っていますか。(は1つ)

< N = 3,272 >

1 以前と比べて随分下がったので、そろそろ上昇すると思う	6.7
2 現状程度が適切な水準であり、しばらくはこの程度だと思う	37.7
3 下がったと言っても、依然として高いので、まだ下がると思う	25.9
4 わからない	29.7

(NA 0.0)

問18 . あなたは、ご自分の暮らし向きについて、1年前と比較してどのようにお感じになっていますか。(は1つ)

< N = 3,272 >

1 どちらかと言えば ゆとりが出てきたと思う	2 どちらかと言えば 苦しくなってきたと思う	3 どちらとも言えない
5.5	45.6	48.9

(NA 0.0)
(問19へ)

(問18で 1 と答えた方にお聞きします)

問18-1a . その理由は次のうちのどれですか。	
< N = 180 > (はいくつでも)	
1 給与等の定期的な収入が増えたから	54.4
2 利子等のその他収入が増えたから	4.4
3 土地・住宅等の不動産の売却による収入があったから	1.7
4 物価が下がっている、あるいは、安定しているから	17.8
5 扶養家族が減ったから	25.6
6 その他(具体的に)	12.2

(NA 0.0)

(問18で 2 と答えた方にお聞きします)

問18-1b . その理由は次のうちのどれですか。	
< N = 1,491 > (はいくつでも)	
1 給与等の定期的な収入が減ったから	69.2
2 利子等のその他収入が減ったから	22.0
3 土地・住宅等の不動産の購入費用がかさんだから	6.2
4 物価が上がっているから	12.1
5 扶養家族が増えたから	10.3
6 その他(具体的に)	15.4

(NA 0.0)

(全員にお聞きします)

問19. あなた(またはご家族)の勤め先の経営、あるいは、あなた(またはご家族)が営んでいる事業に不安を感じていますか。(は1つ)

< N = 3,272 >

1	2	3	4
あまり不安を感じていない	少し不安を感じている	かなり不安を感じている	自分も家族も関係ない
15.3	49.6	27.0	8.0
			(NA 0.1)

問20. あなた(またはご家族)のところでは、給与や人員の抑制・削減といった合理化、リストラがここ1年くらいの間に行われましたか、あるいは今後予定されていますか。(は1つ)

< N = 3,272 >

1	2	3	4
行われた	まだ行われていないが、今後行われる予定である	行われていないし、今後行われる予定もないと思う	わからない
27.9	13.1	25.1	33.9
			(NA 0.0)

↓ (問21へ)

(問20で 1 または 2 と答えた方にお聞きします)

問20-1. 具体的には、どのようなことが実施されましたか、あるいは予定されていますか。(はいいくつでも)

< N = 1,341 >

1	時間外労働の削減	38.3
2	給与カットや賃金制度の見直し	54.7
3	新卒採用の抑制	26.0
4	出向や早期退職勧奨などによる人員の削減	35.9
5	ポストの削減や組織の改革	21.7
6	人事、資格制度の見直し	19.2
7	その他(具体的に)	5.1
8	予定されているが、具体的にはわからない	3.7

(NA 0.1)

(全員にお聞きします)

問21. あなた(またはご家族)の勤め先での雇用・処遇(給与、昇格、福利厚生など)に不安を感じていますか。(は1つ)

< N = 3,272 >

1	2	3	4
あまり不安を感じていない	少し不安を感じている	かなり不安を感じている	自分も家族も関係ない
16.8	45.9	23.6	13.4
			(NA 0.4)

問 22 . あなたのご家族の中で、就職・再就職を考えている方は(あなた自身を含めて)いらっしゃいますか。(は1つ)

< N = 3,272 >

1
い る
31.8

2
い ない
68.1
↓
(問23へ)

(NA 0.2)

(問22で 1 と答えた方にお聞きします)

問22-1 . あなた(またはその方)の就職・再就職に不安を感じていますか。(は1つ)

< N = 1,039 >

1	あまり不安を感じていない	5.7
2	少し不安を感じている	37.2
3	かなり不安を感じている	57.1

(NA 0.0)

(全員にお聞きします)

問23 . マイホームなどの購入・買い替えを具体的に計画していますか。(は1つ)

< N = 3,272 >

1	2	3	4
いまのところ購入・ 買い替えの計画はない	はじめてマイホームを 購入する計画がある	買い替えの計画がある	セカンドハウスを購入 する計画がある
91.8	3.9	3.8	0.5
			(NA 0.0)

↓
(問24へ)

↓
(問23で 2 ~ 4 のいずれかを
答えた方にお聞きします)

問23-1 . いつごろ購入・買い替えをしようと
計画していますか。(は1つ)

< N = 266 >

1	今年中	10.9
2	来年中	15.8
3	再来年以降	17.3
4	時期についてはまだ考えてい ない	54.5

(NA 1.5)

(全員にお聞きします)

問24. あなたには、住宅ローンや消費者ローンなどの借入金がありますか。(は1つ)

< N = 3,272 >

1
あ る
32.5

2
な い
67.4

(NA 0.1)

(問25へ)

(問24で 1 と答えた方にお聞きします)

問24-1. あなたは、最近、借入れの返済について何かしましたか。

< N = 1,065 > (は1つ)

1	今後1回当たりの返済額が減るようにした	9.0
2	今後1回当たりの返済額が増えるようにした	0.9
3	返済期間を短縮するようにした	11.9
4	返済期間を延長するようにした	4.0
5	特に何もしていない	74.1

(NA 0.0)

(問25へ)

(問24-1で 1 ~ 4 のいずれかを答えた方にお聞きします)

問24-2. 具体的にはどうしましたか。(はいくつでも)

< N = 276 >

1	借り換えを行った	40.2
2	繰上げ返済を行った	31.2
3	返済方法を変えた	34.1
4	その他(具体的に)	3.6

問24-3. また、そのようにしたのは、なぜですか。

< N = 276 > (はいくつでも)

1	手元の資金が増えたから	15.6
2	将来の収入が不安だから	42.4
3	現在の収入が減って、毎回の返済負担が重くなったから	24.6
4	低金利だから	41.7
5	当初の返済方法の取り決めにしたがって、毎回の返済額が急に増えたから	6.5
6	早く返済することを催促されたから	4.3
7	その他(具体的に)	4.7

問24-2..... (NA 0.0)

問24-3..... (NA 0.4)

(全員にお聞きします)

F 5 . 主としてお宅の生計を支えていらっしゃるのはあなたですか。

(夫婦で同じ程度という場合などは、「1 はい」に をつけてください。)

< N = 3,272 >

1	2
はい	いいえ
55.2	44.6

(NA 0.2)

F 6 . あなた(および配偶者)の昨年1年間の収入(税込み)は、次のどの区分に入りますか。

(ただし、退職金や土地の売却代金など一時的な収入は除いてください。)(は1つ)

< N = 3,272 >

1 収入はない	5.7	4 1,000万円~1,500万円未満	4.6
2 500万円未満	58.0	5 1,500万円以上	1.2
3 500万円~1,000万円未満	26.9		

(NA 3.6)

F 7 . あなた(および配偶者)は収入(生活費)をどのようなかたちで得ていますか。

以下から、あてはまるものをお選びください。(はいいくつでも)

< N = 3,272 >

1 給料(賃金)	69.6	6 株式などの配当や運用益	1.7
2 事業からの収益	11.2	7 預金など貯蓄の取り崩し	6.7
3 アパートなどの不動産からの賃貸料	3.6	8 家族や国などからの援助	3.1
4 年金	25.4	9 その他(具体的に)	0.2
5 利子収入	1.7	10 収入はない	1.6

(F 8 へ進む)
(NA 0.4)

(F 7 で 1 ~ 9 のいずれかを答えた方にお聞きします)

F 7-1 . F 7 で、あなたが おつけになったものの中で、最も金額の多いものを1つを選んでください。

< N = 3,207 >

1 給料(賃金)	66.4	6 株式などの配当や運用益	0.1
2 事業からの収益	8.8	7 預金など貯蓄の取り崩し	1.5
3 アパートなどの不動産からの賃貸料	1.3	8 家族や国などからの援助	1.9
4 年金	19.8	9 その他(具体的に)	0.1
5 利子収入	0.0		

(NA 0.0)

(全員にお聞きします)

F 8 . あなた(および配偶者)の貯蓄残高は、次のどの区分に入りますか。事業目的のものを除いた預貯金、信託、保険、株式、債券、投信などの合計額でお答えください。なお、生命保険、損害保険、共済については掛け捨て型のものを除いてお答えください。(は1つ)

< N = 3,272 >

1 貯蓄はない	22.1	4 1,000万円~2,000万円未満	9.5
2 500万円未満	41.0	5 2,000万円以上	7.5
3 500万円~1,000万円未満	14.5		

(NA 5.5)

F 9 . あなた（および配偶者）の借入残高は、次のどの区分に入りますか。（ は1つ）

（注）クレジットカードを利用したの買い物や事業目的の借入れは除きます。

< N = 3,272 >

1	借入金はない	62.6	4	1,000万円～2,000万円未満	6.9
2	500万円未満	16.7	5	2,000万円～5,000万円未満	5.0
3	500万円～1,000万円未満	5.6	6	5,000万円以上	0.5

(NA 2.8)

F 10 . 現在一緒に住んでいるご家族の構成は。（ は1つ）

< N = 3,272 >

1	1人住まい世帯	8.1	4	親と子と孫の3世代世帯	17.0
2	夫婦だけ世帯	21.8	5	その他（具体的に）	1.7
3	親と子の2世代世帯	51.2			

(NA 0.2)

（F 10で 3 または 4 と答えた方にお聞きします）

F 10-1 . 世帯の中であなたが位置する世代は。（ は1つ）

< N = 2,230 >

1	親世代	58.2	2	子世代	39.0	3	孫世代	2.7
---	-----	------	---	-----	------	---	-----	-----

(NA 0.1)

（全員にお聞きします）

F 11 . あなた（またはご家族）のお住まいは、次のどれにあたりますか。複数ある場合は、あなた自身が生活の拠点としているお住まいについてお答えください。（ は1つ）

< N = 3,272 >

1	土地付き持ち家	66.0	4	借家（一戸建）	5.6
2	持ち家のマンション	5.9	5	賃貸マンション・アパート	15.5
3	借地持ち家	4.2	6	社宅、官舎、寮	2.8

(NA 0.2)

F 12 . あなたは、マスコミの金融、株式に関する報道を熱心に見るほうですか。（ は1つ）

< N = 3,272 >

1	熱心に見る	25.3	2	あまり見ない	58.1	3	まったく見ない	16.5
---	-------	------	---	--------	------	---	---------	------

(NA 0.0)

F 13 . あなたが、日頃、様々な情報を入手するために利用している主な手段は何ですか。（ は1つ）

< N = 3,272 >

1	新聞記事	46.5	5	インターネット	2.5
2	雑誌記事	1.1	6	携帯電話サイト（5を除く）	0.2
3	テレビ・ラジオの番組	47.8	7	一般書籍	0.3
4	広告、CM	1.3	8	その他（具体的に）	0.2

(NA 0.1)